



漏電事故発生！劣化したコンセントを発見

むつ事業所 河津 勝也

ビジネスホテルで漏電ブレーカが動作し、一部のフロアが停電した事例を紹介します。

〔状況〕

7月の休日午前11時頃、電気事故受付センターにてビジネスホテルのお客さまに設置している絶縁監視装置の警報発生を受信しました。

電気事故受付センターからは、お客さまの代表電話番号へ数回連絡を試みたものの応答がないとの連絡を受けましたが、「ビジネスホテルは休日でも営業しているのでは」と考え、直接現場へ向かいました。

〔調査〕

ビジネスホテルは営業しており、お客さまへ事情をご説明のうえ、原因調査を開始しました。

6階電灯分電盤を確認したところ、主幹漏電ブレーカが「漏電表示あり」で遮断しているのを発見しました。この電灯分電盤は6階フロアの各客室や廊下のコンセントへ電源を供給しており、一部の客室は宿泊中でもあったことから、速やかな原因調査と復旧作業を行う必要がありました。

お客さまから停電の了解をいただき、電灯分電盤にて絶縁抵抗測定をしたところ、「617～620号室コンセント回路」が漏電していることが判明し、当該回路を除いて復旧しました。

617号室を調査したところ、室内コンセントに差し込まれていたファンヒーターの電源プラグが破損しており、コンセント差し込み口にも焼損跡を発見しました。

〔原因〕

原因は、電源プラグがコンセントの奥までしっかり差し込まれていないため接触不良の状態になり過熱・炭化し、トラッキング現象（電気の通り道）が発生して焼損し、漏電に至ったものと想定されます。

〔復旧〕

お客さまには、安全確保のため、当該ファンヒーター及びコンセントは直ちに使用禁止とすることと、当該コンセントの取替え工事を行うようお願いしました。



〔お客さまの声〕

お客さまからは、早急な対応について感謝のお言葉をいただきました。

また、後日、コンセントの取替え工事が実施され、改修されたことを確認しました。

〔まとめ〕

今回の事例では、絶縁監視装置が警報発生し、その後漏電ブレーカが正常に動作したことで火災や重大事故には至りませんでした。

コンセントや電源プラグに「破損」、「変色」などの異常が見られる場合は、使用を継続せず、速やかに担当者へご相談ください。

また、電気事故受付センターでは、24時間体制で電話による電気事故受付と絶縁監視装置からの警報監視を行っています。お客さまの電気設備に異常があった場合は、お客さまに電話連絡のうえ対応することになりますので、代表電話以外に休日・夜間の緊急連絡先についても担当者にお知らせいただくようお願いいたします。



破損していたプラグ



コンセント差し込み口の焼損跡